

## 令和6年度(2024 年度)化学物質環境実態調査の実施方針(案)

令和5年12月18日  
環境保健部環境安全課

環境省の化学物質関連施策に活用されるよう、担当部署から対象とする物質及び媒体についての要望等を踏まえ、調査を行うこととする。

要望を受けるに当たり、毒性等の知見に基づき各施策上の一定の判断基準として「要求検出下限値」を設定し、その下限値を満たすように分析法を開発する。これにより、開発した分析法による調査結果が不検出であっても、各施策において環境リスクが低いと評価するための判断材料として採用されるなど、有効活用されることが期待できる。

調査目的に応じ、「初期環境調査」、「詳細環境調査」又は「モニタリング調査」に分類し、平成 21 年度(2009 年度)に開催した「化学物質環境実態調査のあり方検討会」での検討結果を踏まえ、調査対象物質の特徴を考慮した調査地点、調査日数及び回数、調査検体(生物種等)等を選定し環境測定を実施する。

別添1: 令和5年度に分析法開発を行っている物質

別添2: 令和6年度以降の調査要望物質のうち既存の分析法がある物質

別添3: 令和6年度以降の調査要望物質のうち分析法の開発が必要な物質

令和6年度の初期・詳細環境調査は、別添1のうち分析法が確立した物質と別添2の物質を対象として実施する予定。

## 令和5年度に分析法開発を行っている物質

単位 水質:ng/L、底質:ng/g-dry、生物:ng/g-wet、大気:ng/m<sup>3</sup>

No.	調査物質名	調査媒体	分析法	要求下限	要望施策
1	4,5-ジクロロ-2- <i>n</i> -オクチルイソチアゾル-3-オン	底質	GC/MS	0.25	化審法
2	2,2-ジブromo-2-シアノアセトアミド	水質	LC/MS	18	
3	飽和脂肪酸(炭素数が8から18までの直鎖状のもの)のナトリウム塩又は不飽和脂肪酸(炭素数が8から18までの直鎖状のもの)のナトリウム塩	水質	GC/MS	3.2	
		底質	GC/MS	0.079	
4	テトラエチルチウラムジスルフィド(別名:ジスルフィラム)	水質	LC/MS	2.8	
		底質	LC/MS	5.1	
5	<i>N,N,N</i> -トリメチルドデカン-1-アミニウムの塩	水質	LC/MS	1.5	
6	ノニルフェノール	底質	GC/MS	450	
7	4-tert-ブチルフェノール	底質	GC/MS	50	化管法
8	アリルアルコール	水質	GC/MS	50	
9	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン	水質	GC/MS	50	
10	アルキル硫酸(アルキル基の炭素数が8から18までのもの)及びその塩類	水質	LC/MS	9,900	
11	アントラセン	水質	GC/MS	0.28	
12	ジアクリル酸ヘキサメチレン	底質	LC/MS	25	
2 (再掲)	2,2-ジブromo-2-シアノアセトアミド	水質	LC/MS	18	
3 (再掲)	飽和脂肪酸(炭素数が8から18までの直鎖状のもの)のナトリウム塩又は不飽和脂肪酸(炭素数が8から18までの直鎖状のもの)のナトリウム塩	水質	GC/MS	3.2	
		底質	GC/MS	0.079	
4 (再掲)	テトラエチルチウラムジスルフィド(別名:ジスルフィラム)	水質	LC/MS	2.8	
		底質	LC/MS	5.1	
13	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸	水質	GC/MS	300	
14	りん酸トリブチル	大気	LC/MS	0.2	
15	ピペラジン	底質	LC/MS	30	
16	5-エチリデンビシクロ[2.2.1]ヘプタ-2-エン(別名:エチリデンノルボルネン又は5-エチリデン-2-ノルボルネン)	水質	GC/MS	700	環境リスク 初期評価
17	ジエチルアミン	大気	LC/MS	800	
18	<i>N,N</i> -ジメチルベンジルアミン	水質	GC/MS	200	
19	4,4'-ビス(2-スルホステリル)ビフェニル-2 ナトリウム(別名:フルオレスセント351)	水質	LC/MS	100	
20	プロパナール(別名:プロピオンアルデヒド)	水質	GC/MS	30	
21	りん酸トリス(1,3-ジクロロ-2-プロピル)	大気	LC/MS	20	

単位 水質:ng/L、底質:ng/g-dry、生物:ng/g-wet、大気:ng/m<sup>3</sup>

No.	調査物質名	調査媒体	分析法	要求下限	要望施策
22	1 <i>H</i> ,2 <i>H</i> -ピラゾロ[3,4- <i>d</i> ]ピリミジン-4-オン（別名:アロプリノール）	水質	LC/MS	300	PPCPs
23	1 <i>H</i> ,2 <i>H</i> ,5 <i>H</i> -ピラゾロ[3,4- <i>d</i> ]ピリミジン-4,6-ジオン（別名:オキシプリノール）	水質	LC/MS	800	

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

化管法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

PPCPs：Pharmaceutical and Personal Care Products

## 令和6年度以降の調査要望物質のうち既存の分析法がある物質

No.	物質名	調査媒体	分析法	要望施策	要望理由		
1	アルコール(アルキル基が直鎖で炭素数が10から16までのもの)	底質	GC/MS (R4 白本)	化審法	優先評価化学物質に指定され第二種特定化学物質への指定を検討する必要があるが、近年の調査実績がないことから、環境残留実態の調査を優先的に行い、環境中における実態を把握することが必要とされたため。		
2	ヘキサデシル(トリメチル)アンモニウムの塩	底質	LC/MS (R4 白本)				
3	ジデシル(ジメチル)アンモニウムの塩						
4	$\alpha$ -(ノニルフェニル)- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン) (別名:ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル)		LC/MS (H22 白本)				
	オキシエチレンの重合度が1から15までのもの	水質					
	オキシエチレンの重合度が3から15までのもの	底質					
	オキシエチレンの重合度が1又は2のもの	底質	LC/MS (R4 白本)				
5	ノニルフェノール	水質	GC/MS (H23 白本)				
6	アリルアルコール	大気	GC/MS (H21 白本)			化管法	化管法の施行状況について検討を加えるに当たり、一定の有害性が認められる物質について、その環境残留状況を確認するため。
7	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン	大気	GC/MS (H26 白本)				
8	ジアクリル酸ヘキサメチレン	水質	LC/MS (R4 白本)				
9	4,4'-ジアミノジフェニルエーテル	水質	LC/MS (H19 白本)				
		底質	LC/MS (H21 白本)				
10	ジイソプロピルナフタレン	水質	GC/MS (H19 白本)				
		底質					
		大気					
11	ジフェニルエーテル (別名:フェノキシベンゼン)	水質	GC/MS (R3 白本)				
		底質	GC/MS (R4 白本)				
12	ジベンジルエーテル	水質	GC/MS (H18 白本)				
		底質					
		大気		GC/MS (H19 白本)			
1 (再掲)	1-ドデカノール	底質	GC/MS (R4 白本)				
13	トリブチルアミン	水質	LC/MS (R4 白本)				
		底質	LC/MS (R4 白本)				
14	ピペラジン	水質	LC/MS (H19 白本)				

No.	物質名	調査媒体	分析法	要望施策	要望理由
15	<i>n</i> -ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル	水質	GC/MS (R4 白本)	化管法	化管法の施行状況について検討を加えるに当たり、一定の有害性が認められる物質について、その環境残留状況を確認するため。
16	4- <i>tert</i> -ブチルフェノール	水質	GC/MS (R4 白本)		
17	<i>N</i> -( <i>tert</i> -ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	水質	GC/MS (R4 白本)		
		底質	GC/MS (R4 白本)		
2 (再掲)	ヘキサデシル(トリメチル)アンモニウムの塩	底質	LC/MS (R4 白本)		
18	りん酸トリブチル	水質	GC/MS (H21 黒本)		
		底質			
19	プロパナール (別名:プロピオンアルデヒド)	大気	LC/MS (H15 白本)	環境リスク 初期評価	化学物質の環境リスク初期評価を実施する上で、ばく露情報等が不足しているため。
20	りん酸トリス(2-クロロ-1-メチルエチル) (別名:りん酸トリス(2-クロロイソプロピル))	水質	GC/MS (R4 白本)		
			21		
22	りん酸トリス(2-ブトキシエチル)				
23	アクリル酸	大気	GC/MS (H18 白本)		
16 (再掲)	4- <i>tert</i> -ブチルフェノール	水質	GC/MS (R4 白本)	EXTEND	EXTEND を実施する上で、ばく露情報等が不足しているため。
24	アクリル酸及びアクリル酸アルキル類			類縁混合物リスク評価の試行	アクリル酸アルキル類を対象として、類縁混合物の生態リスクの一括した評価を試行する上で、それらの物質が環境中に同時に存在する状況を把握する必要があるため。
	アクリル酸	水質	LC/MS (H30 白本)		
	アクリル酸メチル		GC/MS (H30 白本)		
	アクリル酸エチル				
	アクリル酸 <i>n</i> -ブチル				
	アクリル酸イソブチル				
	アクリル酸 <i>tert</i> -ブチル				
	アクリル酸 <i>n</i> -オクチル				
	アクリル酸イソオクチル				
	アクリル酸 2-エチルヘキシル				
	アクリル酸イソノニル				
	アクリル酸 <i>n</i> -デシル		GC/MS (R2 白本)		
	アクリル酸 <i>n</i> -ドデシル		GC/MS (R4 白本)		
	アクリル酸 <i>n</i> -オクタデシル				

注: 分析法の欄の括弧内に記載したものは分析法の出典であり、「白本」とは「化学物質と環境 化学物質分析法開発調査報告書」を、「黒本」とは「化学物質と環境」で用いた分析法をそれぞれ意味する。

化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

化管法: 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

EXTEND: Extended Tasks on Endocrine Disruption

## 令和6年度以降の調査要望物質のうち分析法の開発が必要な物質

No.	物質名	調査媒体	要望施策	要望理由	備考
1	ヒドロキシルアミン	水質 大気	化審法	優先評価化学物質に指定され第二種特定化学物質への指定を検討する必要があるが、近年の調査実績がないことから、環境残留実態の調査を優先的に行い、環境中における実態を把握することが必要とされたため。	
2	エチレンジアミン	水質	化管法	化管法の施行状況について検討を加えるに当たり、一定の有害性が認められる物質について、その環境残留状況を確認するため。	—
3	1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド	水質			—
4	テトラヒドロメチルフタル酸類	水質			—
5	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン	水質			大気は既存の分析法あり
6	アントラセン	底質			水質は分析法開発中
7	4,4'-ジアミノジフェニルエーテル	大気			水質及び底質は既存の分析法あり
8	N-ニトロソジ-n-プロピルアミン	水質 大気			環境リスク初期評価
9	N-ニトロソジ-n-ブチルアミン	水質 大気	—		
10	N-ニトロソ-N-メチル尿素	水質 大気			
11	ジベンゾ[a,j]アクリジン	水質 大気	—		
12	ジベンゾ[a,h]アクリジン	水質 大気	—		
13	7H-ジベンゾ[c,g]カルバゾール	水質 大気	—		
14	5-エチリデンビシクロ[2.2.1]ヘプタ-2-エン（別名：5-エチリデン-2-ノルボルネン）	大気	水質は分析法開発中		

No.	物質名	調査媒体	要望施策	要望理由	備考
15	<i>p</i> -(2-メチルプロピル)- $\alpha$ -メチルフェニル酢酸 (別名:イブプロフェン)	水質	PPCPs	環境中の医薬品等について環境リスク評価を検討する上で、暴露情報等が不足しているため。	
16	グアニル尿素	水質			—
17	2-シアノ-3,3-ジフェニル-2-プロパン酸 2-エチルヘキシルエステル (別名:オクトクリレン)	水質			—
2 (再掲)	エチレンジアミン	大気	大気環境	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質リストに選定され、近年の大気媒体での調査実績がないため。	—
18	ふっ化水素	大気			—
19	ジメチルジスルフィド	大気			水質は既存の分析法あり
20	ピペラジン	大気			—
21	<i>tert</i> -ブチル=ヒドロペルオキシド (別名:6-ブチルヒドロペルオキシド又は1,1-ジメチルエチルヒドロペルオキサイド)	大気			—
22	塩化第二鉄 (別名:塩化鉄(III))	大気			—
23	第四級アンモニウムの塩類	水質底質	類縁混合物リスク評価の試行	化学物質の複合影響に関する調査において、段階的評価のケーススタディとして、水環境中における共存の状況を把握する必要があるため。	—

化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

化管法: 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

PPCPs: Pharmaceutical and Personal Care Products